

2025年度ZEH普及実績、2030年度ZEH普及目標について

わが国では、2020年10月に**2050年カーボンニュートラル実現**を目指すことが宣言され、実現に向けて様々な取り組みが進められています。

2021年には、2030年度温室効果ガス排出量を2013年度比46%削減することが表明され、同年には第6次エネルギー基本計画が閣議決定されたことにより、野心的な目標に向けた具体的な取り組みが加速されています。

2025年2月に閣議決定された第7次エネルギー基本計画においても、引き続き2050年ストック平均でのZEH基準（年間の一次エネルギー消費量が正味（ネット）でゼロとなる住宅）の水準の省エネルギー性能の確保に向けた施策の方向性が示されており、これに至る2030年度以降に新設される住宅・建築物のZEH基準の水準の省エネルギー性能の確保を目指すことが確認されました。

2025年4月には、原則全ての新築住宅・非住宅建築物について省エネ基準適合が義務化され、規制面での住宅・建築物の省エネルギー性能は着実に上げが進められています。また、2025年9月には、GX ZEH の定義が公表され、2027年度から認証が開始されることとなっており、2030年度に向けて、省エネルギー性能の強化と自家消費の拡大に向けた性能の深掘りも進められています。

ZEHビルダープランナー登録制度においては、2026年度から2030年度をフェーズ3として、ZEHの深掘り及びZEH普及に取り組むプレイヤーの拡大とその支援の充実を目指し、ひいては2030年度家庭部門排出量削減目標の達成、並びに2050年カーボンニュートラルに向けた政府目標の達成に寄与することを目指すこととされています。

これを受け当社では、第7次エネルギー基本計画に基づき、当社が受注する住宅のうちZEH（Nearly ZEH・ZEH oriented等を含む）が占める割合を2030年度までに100%とする事業目標（以下「ZEH普及目標」という）を掲げ「ZEHビルダー」として登録を行ったところです。

株式会社クラシノハウス（本社：石川県金沢市、代表取締役社長：木谷 孝則）は今回、2025年度のZEH普及実績及び2030年度のZEH普及目標を公表します。

2025年度のZEH普及実績と2030年度のZEH普及目標

年度		2025年度	2030年度
実績	ZEHシリーズ	100.00%	
	GX ZEHシリーズ	8.00%	
目標	ZEHシリーズ		100.00%
	GX ZEHシリーズ		50.00%

〈SII ZEHビルダー/プランナー一覧検索〉

<https://zehweb.jp/registration/builder/>

〈ZEH普及目標の達成に向けて〉

省エネ地域区分5・6において、断熱等性能等級6以上となるよう商品ラインナップを一新。商品のベースアップを行うことで、さらなるZEHの普及とGX ZEHシリーズへの対応も進めてまいります。